

医療薬学研究に関する情報公開

【研究名】

薬物療法中の患者における口腔ケア推進を目的とした地域医療連携の取り組み

【目的】

口腔内に有害事象（口腔乾燥、口内炎、顎骨壊死等）を引き起こす薬剤は少なくなく、その予防や早期発見には定期的な歯科受診や口腔ケアが必要である。その他にも歯周病は脳梗塞や糖尿病のリスク因子であることが報告されており、副作用予防のみならず疾病予防の観点からも口腔ケアの重要性が注目されている。しかしながら、薬剤を服用している患者に対して医療従事者がどの程度口腔ケアについて説明し、実際に患者が口腔ケアを実践できているかは不明である。本研究では歯科医師の協力の下、薬剤師が歯科受診勧奨に向けた取り組みを行い、どのような介入によりどの程度歯科受診率が向上するか調査を行う。

【研究内容】

- 1.対象者：愛媛大学医学部附属病院および近隣の薬局に訪れた患者
- 2.方法：歯科受診状況やかかりつけ歯科の有無を口頭で確認する。また、リーフレット等を用いて定期的な歯科受診の必要性を説明し、受診勧奨を行う。問診で得られた内容は院外処方せんのお薬伝言板や薬剤師が介入した事例を報告するシステムを介して情報を集積する。集積された情報から性別、年齢、使用薬剤、歯科受診状況、かかりつけ歯科の有無等に関する情報を解析し、薬剤師による歯科受診勧奨が歯科受診率の向上に結びつくかどうかを調査する。
- 3.調査項目：性別、年齢、使用薬剤、歯科受診状況、かかりつけ歯科の有無等

【研究期間】

2019年1月7日～2020年12月31日を予定

【個人情報の管理】

対象者のプライバシーを完全に守るため、結果の発表や出版に際しては個人が特定できるような情報は掲載しない。エクセルにて個人に番号を割り振り、パスワードを付与して登録し、共同研究者のみ閲覧できるようにして管理する。

【研究実施体制】

- 山口巧（医療薬学研究室教授）
- 込山武弘（医療薬学研究室学生）
- 渡部覚氏（エビスヤ薬局志津川店管理薬剤師）
- 古川清（あい薬局代表取締役）
- 安永大輝（愛媛大学医学部附属病院薬剤部主任）
- 田中亮裕（愛媛大学医学部附属病院薬剤部薬剤部長）

田中守（愛媛県病院薬剤師会会長）
近藤一雄（東温市歯科医師会専務理事）
上田吉男（東温市歯科医師会会長）

【研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する問い合わせを希望される方は、研究責任者に御連絡ください。

研究責任者

松山大学薬学部医療薬学研究室准教授 渡邊真一
790-8578 松山市文京町 4 番地 2
電話番号：089-926-7113
E-mail：swatanab@g.matsuyama-u.ac.jp